

dbx[®] *PROFESSIONAL PRODUCTS*

1074

Quad Noise Gate

対象製品

1074



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

取扱説明書

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



警告

- 水に入れたり、ぬらさないでください。火災や感電の原因になります。
- AC100V 50/60Hzの電源で使用してください。これ以外の電源では、火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因となります。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因になります。電源コードが傷んだら（断線や芯線の露出など）、直ちに使用を中止し販売店に交換をご依頼ください。
- 水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因となります。
- 万一、落したり筐体を破損した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



注意

- 不安定な場所に設置しないでください。落下によるけがの原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- 機器をラックに設置する場合は、必ず専用のラックマウント金具を使用し、重量を支えるために全てのネジをしっかり固定してください。落下すると、けがや器物を破損する原因となります。
- 配線は、電源コードを抜いてから説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 電源を入れる前に、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となります。
- 機器の移動は、電源プラグをコンセントから抜き、他の機器との接続を全て外してから行ってください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となります。
- ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

目次

はじめに	4
梱包内容の確認	4
1074の特長	4
各部の名称と機能（前面パネル）	5
各部の名称と機能（背面パネル）	5
接続方法と応用例	6
仕様	7
ブロックダイアグラム	7

はじめに

この度は、dbx 1074をご購入いただき、ありがとうございます。1074は、残留ノイズやバックグラウンドノイズの除去から、過渡成分を多く含む素材の処理まで、あらゆる処理に対応する4チャンネル・ノイズゲートです。

この冊子は、1074の全機能を理解するための取扱説明書です。1074の機能についてご理解いただいたき、実際に操作して、様々な用途に最適な使い方を追求してみることをお勧めします。

梱包内容の確認

梱包を開けたら、まず次のものが入っていることを確認してください。

dbx 1074本体

AC電源ケーブル

和文取扱説明書

保証書

英文取扱説明書

万一足りないものがございましたら、お手数ですが購入された販売店にご連絡ください。

1074の特長

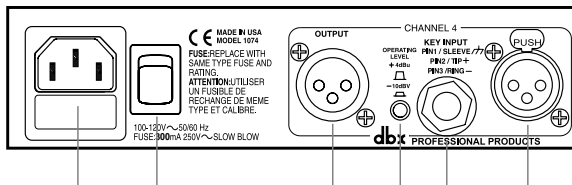
dbx 1074は、各チャンネルに独立したノイズゲート機能を装備した4チャンネル・ノイズゲートです。

以下に1074の特長をご紹介します。

- ・ ステレオ×2、モノラル×2/ステレオ×1など、様々な組み合わせでの使用が可能な4チャンネル独立ノイズゲート
- ・ 高度な入力適応型の回路による、自然なアタック、リリース特性
- ・ 各チャンネルに2セグメントのLEDによるスレッショルドメータを装備
- ・ バランス入出力
- ・ チャンネル1/2、3/4のステレオリンク機能を搭載
- ・ キーによるゲート処理が可能

各部の名称と機能

背面パネル



注意:電源コネクタ、電源スイッチ以外の端子・ジャックおよびボタンは、各チャンネルごとに装備されています。

電源コネクタ

このコネクタに付属の電源ケーブルを接続します。

電源スイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

OUTPUT端子

電子バランス型のXLR出力端子です。

OPERATING LEVELボタン

入出力レベルを+4dBu、-10dBvで切り替えることができます。

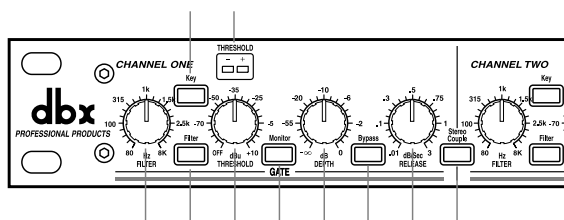
KEY INPUTジャック

ゲート動作のトリガとして使用する信号を直接入力するための標準フーンジャック(3P)です。

INPUT端子

電子バランス型のXLR入力端子です。

前面パネル



注意: Stereo Coupleボタン以外のつまみおよびボタンは、各チャンネルごとに装備されています。

FILTERつまみ

ゲート処理を行う周波数を設定するつまみです。80Hz～8kHzの範囲で調整することができます。

FILTERボタン

フィルタのON/OFFを切り替えるボタンです。

Keyボタン

KEY INPUTジャックに挿入したキー入力信号のON/OFFを切り替えるボタンです。

THRESHOLDつまみ

ゲートのスレッシュホールド(ゲートを開き、入力信号を通過させるレベル)を設定します。つまみを左に回しきるとゲートはOFFになり、全ての信号が減衰せずにゲートを通過します。右に回しきるとゲートが動作し、+10dBu以下の入力信号が減衰します。減衰量はDepthつまみの設定によって決まります。

THRSHOLD LED

スレッシュホールドに対する入力信号の関係(位置)を表示します。入力信号がスレッシュホールドを超えた時は(+)のLEDが、スレッシュホールド以下の時は(-)のLEDが点灯します。

Monitorボタン

このボタンを押すと、フィルタ直後の信号をモニタすることができます。ゲートをトリガする信号を確認する際、便利です。

DEPTHつまみ

スレッシュホールド以下に下がった信号の減衰量を設定します。

Bypassボタン

このボタンを押すと、ゲートがバイパスされ、入力信号がそのまま出力されます。

RELEASEつまみ

入力信号がスレッシュホールド以下に下がってからゲートを閉じるまでの時間を設定します。設定範囲は、0.01dB/s(左に回しきった状態)~ 3dB/s(右に回しきった状態)です。

注意:ゲートが閉じるにつれてdB/sが連続的に増加するため、ゲートのリリース速度は加速します。

Stereo Coupleボタン

ステレオ・モードとモノラル2チャンネル・モードを切り替えるボタンです。このボタンをONにすると、対応する2つのチャンネルがステレオペアとなります。ステレオ・モードでは、奇数チャンネルがマスタ、偶数チャンネルがスレーブとなり、マスタ側のキー信号によって、両チャンネルのゲートが動作します。スレーブチャンネルのつまみ、ボタン、およびLEDは無効となり、マスタチャンネル側から両方のチャンネルを操作することができます。Stereo CoupleボタンがOFFの状態では、各チャンネルが単体のノイズゲートとして機能します。つまみ類はチャンネルごとに独立しています。

Stereo Couple LED

2つのチャンネルがステレオリンク状態の時、このLEDが点灯します。

接続方法と応用例

基本的な接続方法

接続作業を行う前に全ての機器の電源を切ります。

ラックマウント用ねじで1074本体をラックに取り付けます。その際、通気を確保するために本機の上下に十分なスペース(最低1U)を空ける必要があります。発熱の多い機器の真上または真下に本機を設置してはなりません。また、本機の使用中に周囲の温度が45℃を超えないように注意してください。本体シャーシはRFI/EMIシールドを備えていますが、電波障害や電磁障害が極端に多い場所への設置はなるべく避けてください。

XLR端子に外部機器を接続します。

音声入出力用のXLR端子とキー入力用の標準フォーンジャック(3P)のいずれも、バランス接続とアンバランス接続の両方に対応しています。

AC電源ケーブルを本体背面のAC電源コネクタに接続します。AC電源ケーブルは、音声ラインからなるべく離れた電源コンセントに差し込みます。電源のON/OFFは、背面パネルの電源スイッチとマスタの電源スイッチのどちらで行ってもかまいません。

主な応用例

- (1)ドライな(残響成分がない)パーカッション(スネアドラム、キックドラムなど)にゲートをかける
- (2)減衰時間の長い音(シンバル、ピアノなど)にゲートをかける
- (3)電気楽器または録音済みのトラックからのハムノイズやバズノイズのゲート処理
- (4)ヘッドホンからマイクロホンへの音漏れの除去
- (5)楽器收音マイクロホンのゲート処理によるサウンド全体の濁りの除去
- (6)録音済みのトラックまたはマイク收音の楽器のダイナミクス処理
- (7)マイクロホンのゲート処理によるハウリングの抑制
- (8)背面パネルのKEY INPUTに挿入した外部信号によるゲート動作の制御
- (9)余分な響きをカットして「ルーム感」をなくす

仕様

音声入力 端子・形式 XLR、電子バランス
 インピーダンス 50k
 最大レベル +22dBu

周波数特性 0.35Hz ~ 200kHz (+0/ - 3dB)

ダイナミックレンジ 115dB

キー入力 端子・形式 標準フォンジャック (3P)、電子バランス
 インピーダンス 50k

THD + N 0.008% (+4dBu, 1kHz, 0dBゲイン)

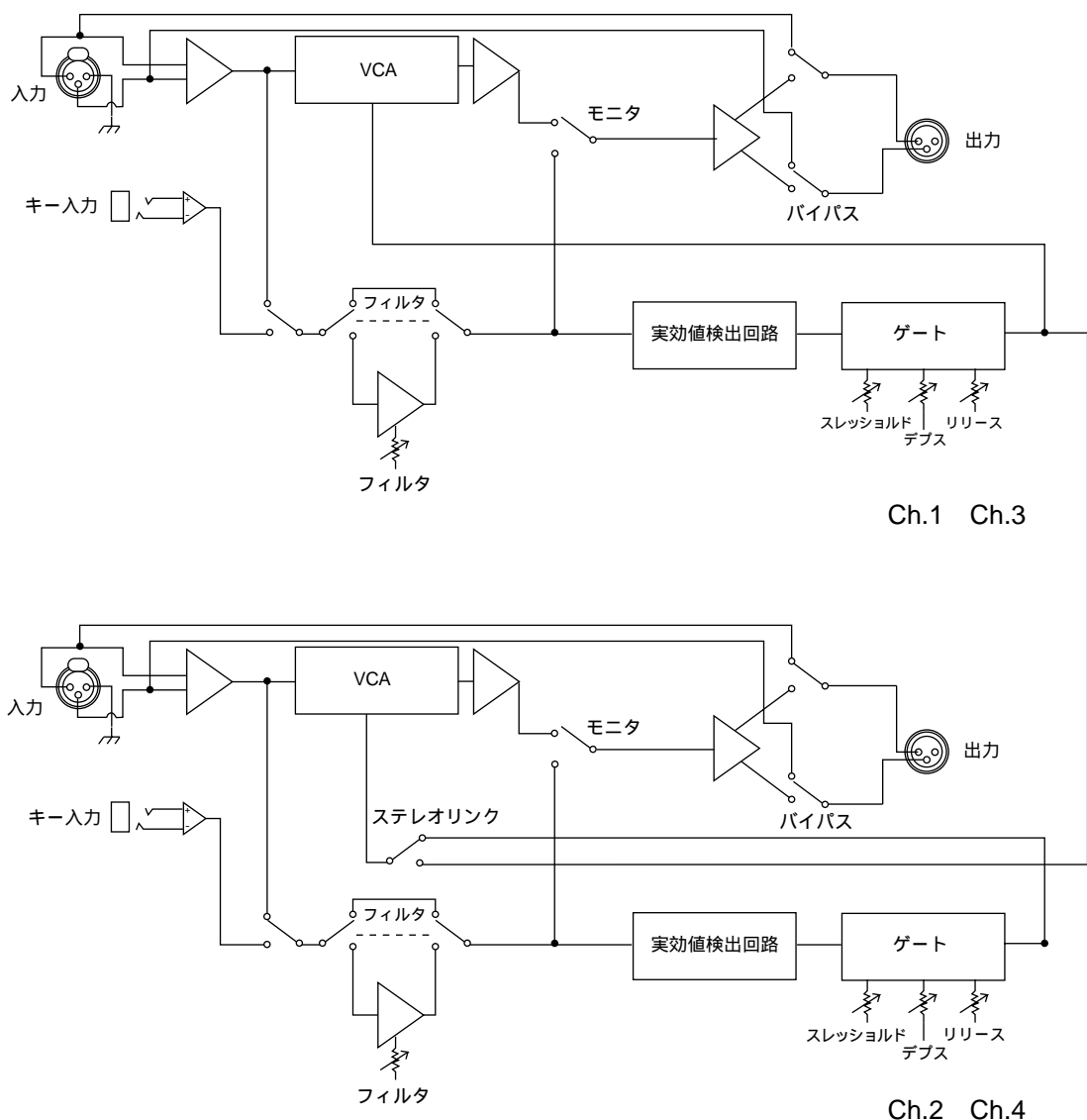
電源 AC100 ~ 120V, 50/60Hz, 30W

音声出力 端子・形式 XLR、電子バランス
 インピーダンス 60
 最大レベル +22dBm

寸法・重量 幅483×高45×奥行200mm, 3.2kg

注意: 上記仕様は予告なしに変更することがあります。

ブロックダイアグラム





この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

2015年3月版

HIBINO

<http://www.hibino.co.jp/>
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111

札幌オフィス

〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三條1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ランチ

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ランチ

〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509